

---

第29期(2020年度)SC経営士一次試験問題

# 商業一般

時間 45分 点数配分 75点

---

## 注意事項

1. はじめに、受験番号(4桁)・氏名・ふりがなを記入し、受験番号に該当する番号をマークしてください。
2. 解答はすべて、解答用紙(マークシート)に記入してください。
3. 各問題とも問題文の指示にしたがって、正解と思う番号を選び、解答用紙(マークシート)の解答欄にその番号をマークしてください。
4. 記入は必ず、HBもしくはBの黒鉛筆またはシャープペンシルで、○のなかを正確に塗りつぶしてください(ボールペンは不可)。
5. 訂正は、プラスチック製消しゴムできれいに消し、消し屑を残さないでください。
6. 解答用紙(マークシート)には所定の記入欄以外には記入しないでください。
7. 解答用紙(マークシート)は、汚したり、折り曲げたりしないでください。

## <記入上の注意>

・マークの仕方

[良いマーク]



[悪いマーク]

チェック



斜め



短い



細い



ハミ出し



薄い



小さい



一般社団法人 日本ショッピングセンター協会

【第1問】〈配点10点〉

(解答番号は  から )

消費や家計に関する以下の調査について、目的や概要にあてはまる説明文を【A群】より、調査の対象や調査内容を【B群】より選び、解答欄にその番号をマークしなさい(両方正解ではじめて得点とする)。

	【A】	【B】
<input type="text" value="1"/> 家計調査	<input type="text" value="1 A"/>	<input type="text" value="1 B"/>
<input type="text" value="2"/> 全国消費実態調査	<input type="text" value="2 A"/>	<input type="text" value="2 B"/>
<input type="text" value="3"/> 景気ウォッチャー調査	<input type="text" value="3 A"/>	<input type="text" value="3 B"/>
<input type="text" value="4"/> 家計消費状況調査	<input type="text" value="4 A"/>	<input type="text" value="4 B"/>
<input type="text" value="5"/> 消費動向調査	<input type="text" value="5 A"/>	<input type="text" value="5 B"/>

【A群】

1 A ) 5 A	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 景気動向判断の基礎資料を得ることを目的として、内閣府が毎月行っている。調査結果をもとに「消費者態度指数」などが公表される。</li> <li>2. 全国の世帯の収入と支出についての統計調査で、総務省統計局が毎月行っている。景気動向の重要項目である個人消費を把握するための重要な資料である。</li> <li>3. 家計の構造を「所得」「消費」「資産」の3つの側面から把握することを目的として、家計の収入・支出及び貯蓄・負債、耐久消費財、住宅・宅地などの家計資産を、総務省統計局が5年ごとに調査している。ジニ係数など所得の分布を表す指標も提供している。2019年(令和元年)から、全国家計構造調査に変更された。</li> <li>4. 景気動向を早期に把握するために内閣府が行っている。街角景気とも呼ばれ、景気判断の重要な資料となる。</li> <li>5. 購入頻度の少ない高額商品・サービスの消費やICT関連消費の実態を、総務省統計局が毎月調査している。</li> </ol>
-----------------	---

【B群】

1 B ) 5 B	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 全国の調査地点から抽出した約5万6千世帯対象。家計や耐久消費財、年収・貯蓄等に関する調査票に回答する。</li> <li>2. 全国約9千世帯対象。対象者は6か月間(単身世帯は3か月間)、毎日の収入と支出を記録する。</li> <li>3. 百貨店の販売員やタクシー運転手など消費の最前線の情報に接している全国約2千人を対象とするアンケート調査。身の回りの景気の状態や将来の景気について質問している。</li> <li>4. 全国3千地点、約3万世帯に対するアンケート調査。電子マネーの利用やインターネットを利用した購入状況について質問している。</li> <li>5. 全国の調査地点から抽出した8千4百世帯に対するアンケート調査。今後の暮らし向きや物価の見通しについては毎月、主要耐久消費財等の保有・買い替え状況は年に1回調査している。</li> </ol>
-----------------	---

【第2問】〈配点10点〉

(解答番号は  から )

小売業に関する以下の記述のうち正しいものには1を、誤っているものには2を、解答欄にマークしなさい。

- 6 経済産業省の2019年（平成31年・令和元年）商業動態統計によると、商業販売額のうち卸売業よりも小売業の販売額が多い。
- 7 主要チャネルの年間売上高の推移を2009年（平成21年）から2019年（平成31年・令和元年）にかけてみると、ドラッグストアやコンビニエンスストア、大手スーパーを中心とするチェーンストアは伸びているが、百貨店は減少、ホームセンターは横ばいとなっている。
- 8 ドラッグストアは、主に医薬品、化粧品を中心とした健康及び美容に関する各種の商品を中心として、家庭用品や加工食品などの最寄り品をセルフサービス方式によって販売する。2019年（平成31年・令和元年）度のカテゴリー別売上構成比では、「フーズ・その他」が3割近くを占める。
- 9 コンビニエンスストアの既存店売上高は、新型コロナウイルス感染拡大で緊急事態宣言が全国で発令された2020年（令和2年）4月には、対前年で増加した。
- 10 人手不足を背景に24時間営業をやめるコンビニエンスストアが増加している。経済産業省によるコンビニエンスストアの定義では、営業時間を14時間以上としている。
- 11 2019年（平成31年・令和元年）の全国百貨店売上高に占めるインバウンドの比率は年間平均で6%程度であり、10%を超える月もみられた。しかし、新型コロナウイルスによる海外からの渡航者の入国制限により、2020年（令和2年）4月にはほぼゼロとなった。
- 12 2019年（平成31年・令和元年）のBtoC-EC市場規模をみると、物販系・サービス系・デジタル系分野のうち物販系分野が半数以上を占めている。
- 13 織研新聞社の調査では、2018年（平成30年）のファッション商品の売上高に占めるECの割合は約11%で、売上高合計は1兆円を超えている。
- 14 家計調査における「被服及び履物」の支出額は、2000年（平成12年）から2019年（平成31年・令和元年）にかけて約6割にまで低下し、それに対応するように衣類の国内供給量も減少が続いた。
- 15 日本のキャッシュレス比率は韓国や中国、欧米に比べて低い。経済産業省が2018年（平成30年）4月に公表した「キャッシュレス・ビジョン」では2025年までにキャッシュレス決済比率を50%とする目標が設定されている。

【第3問】〈配点10点〉

(解答番号は 16 から 20 )

次の文章は、最近注目されている売り方や施策や技術、企業に関する記述である。記述文と最も関連の深い語句をそれぞれの語群から選び、解答欄にその番号をマークしなさい。

16 ライブ配信とECを組み合わせた販売方法。双方向性が特徴で、視聴者からのリクエストにその場で応えることができ、生放送のリアルタイムでのやり取りを活かしたマーケティングが行える。

語群

16	1. テレビショッピング	2. オンラインコマース	3. オムニチャネル
	4. ライブコマース	5. ユーチューブ	

17 リアル店舗とECの垣根をなくした総合的なマーケティングを行い、顧客体験の向上を目指す施策。「シームレスな購買体験」「ユーザー体験のデータ化」「クロスコマースの推進」が鍵となる。

語群

17	1. UGC	2. O2O	3. OMO
	4. D2C	5. RaaS	

18 商品やサービスの価格を市場の動きに合わせて変動させること。需給バランスに合わせて価格を変動することで、収益の最大化を図ることを目的とする。AIの活用で人手が減らせるうえ、ディープラーニングで値付けの精度が増していることなどから、小売業でも導入の動きが広がりつつある。

語群

18	1. マーケットプライシング	2. ターゲットプライシング	3. スキミングプライシング
	4. AIプライシング	5. ダイナミックプライシング	

19 Amazonが開発しライセンス販売を発表した、買い物客がレジで支払いをすることなく、そのまま店を出られるようにする技術。新型コロナウイルスにより、店内での人と人との接触を防ぐことが課題となるなかで注目されている。

語群

19	1. ESG	2. JIT	3. JWO
	4. FSP	5. GPS	

20 2009年（平成21年）にニューヨークで創業したファッション・レンタルサービスの草分け的企業。2019年（平成31年・令和元年）末にはホテルと提携し、顧客がレンタルした洋服をホテルに届けるサービスで話題となった。

語群

20	1. メチャカリ	2. レント・ザ・ランウエイ	3. ラクロス
	4. エアークローゼット	5. ブルーエプロン	

【第4問】〈配点10点〉

(解答番号は  から )

小売業のサステナビリティに関する次の文章を読み、文中の空欄に最も適切な語句を下記のそれぞれの語群から選び、その番号をマークしなさい。

2015年（平成27年）9月に国連で採択されたSDGs（Sustainable Development Goals）。「誰一人取り残さない」持続可能で  と包摂性のある社会の実現のため、2030年までの国際目標として17のゴールと169のターゲットが設定されている。消費者に最も近い産業である小売業が、SDGsに果たす役割は大きい。持続可能な社会の実現と企業の利益を両立させるため、様々な取り組みがはじまっている。

ファッション業界では、衣料品のロスの低減に向けて、リユースやリサイクルのほか、多様なブランド商品をセレクトし値引きして販売する  という業態の開発も話題となっている。

食品業界においても、食品ロスは大きな課題である。特に食品業界の商習慣として採用されている  ルールによって、品質に問題がないにもかかわらず、賞味期限や納入期限が切れた商品を廃棄処分しなければならない点は大きな課題となっている。お茶専門店のルピシアは、賞味期限間近・賞味期限切れの商品を販売する業態を立ち上げて話題を呼んだ。

海外では、世界最大の小売業  が、「2025年コミットメント&ターゲット」でCO2排出量や廃棄物など10のテーマについて、サプライチェーンも巻き込んだ2025年までの定量目標を設定している。

消費者の社会・環境への関心の高まりもSDGsを後押ししている。なかでも、いわゆるミレニアル世代や  世代と呼ばれる世代は、社会課題や環境への関心が特に高いといわれている。

語群

21	1. 新奇性	2. 信頼性	3. 多様性
	4. 協調性	5. 独創性	
22	1. オフプライスストア	2. アウトレットストア	3. パワーセンター
	4. SPA	5. オンラインストア	
23	1. 10分の1	2. 5分の1	3. 4分の1
	4. 3分の1	5. 2分の1	
24	1. アマゾン	2. ウォルマート	3. ターゲット
	4. テスコ	5. カルフル	
25	1. B	2. H	3. X
	4. Z	5. W	

第5問〈配点20点〉

(解答番号は  から )

次の文章は「飲食業」に関する記述である。文中の空欄にあてはまる最も適切な語句を下記の語群から選び、解答欄にその番号をマークしなさい。

和食店Aの12月度の売上高は12百万円、客数は4,800人であった。したがって、客単価は  円である。

(語群)

26	1. 2,000	2. 2,500	3. 3,000	4. 4,000
----	----------	----------	----------	----------

レストランB(客席数120席)は前期、平日のディナータイムの満席率が80%、客席回転数1.5回、客単価2,500円であった。この場合、平日のディナータイムの売上高は  円である。

同店では、今期ハイグレードなお店に改装して、売上高を10%アップさせたいと考えている。客席数100席、満席率80%、客席回転数1.2回と想定するならば、客単価  円にしなければならない。

(語群)

27	1. 240,000	2. 300,000	3. 360,000	4. 450,000
28	5. 4,125	6. 3,750	7. 3,000	8. 2,750

居酒屋Cの日次損益表によれば、総売上高600千円、原材料費192千円、人件費168千円、家賃・共益費37千円、水道光熱費30千円、備品・消耗品費8千円、その他経費8千円、減価償却費40千円、営業利益117千円であった。この場合、FLコストは  %、FLRコストは  %となる。

(語群)

29	1. 28	2. 32	3. 38.2	4. 60
30	5. 66.2	6. 71.2	7. 72.5	8. 73.8

ホットペッパーグルメ外食総研の調査によれば、2018年（平成30年）度における女性の外食の延べ回数はこの3年間ほとんど変わらないが、一人外食は14.2%増加している。さらに職業状況別でみると、の一人外食延べ回数は、ここ3年間で31.1%も増加している。

また、女性の一人外食で利用している業態は、ファストフード、ファミレス・回転すし、喫茶店・カフェの上位4業態で、過半数のシェアを占めている。

(語群)

31	1. 就業者	2. 専業主婦	3. 学生	4. 焼肉・ステーキ
32	5. ラーメン・そば	6. フレンチ・イタリアン	7. お好み焼き・鉄板焼き	

経済産業省は、近年問題視されている、飲食店における無断キャンセル（No show）に対応すべく、2018年（平成30年）11月「No show（飲食店における無断キャンセル）対策レポート」を発表している。

このレポートによれば、No show防止に向けて飲食事業者に期待される対策として、①の徹底、②顧客がキャンセル連絡をしやすい仕組みの整備、③キャンセルポリシーやキャンセル料の目安の明示、④や預かり金（デポジット）の徴収等の導入の4つを掲げている。昨今増えている決済は、④の対策に有効と思われる。

(語群)

33	1. 電話予約	2. 丁寧な接客	3. 予約の再確認
34	4. 違約金	5. 損害賠償請求	6. 事前決済
35	7. 現金	8. 売掛金	9. キャッシュレス

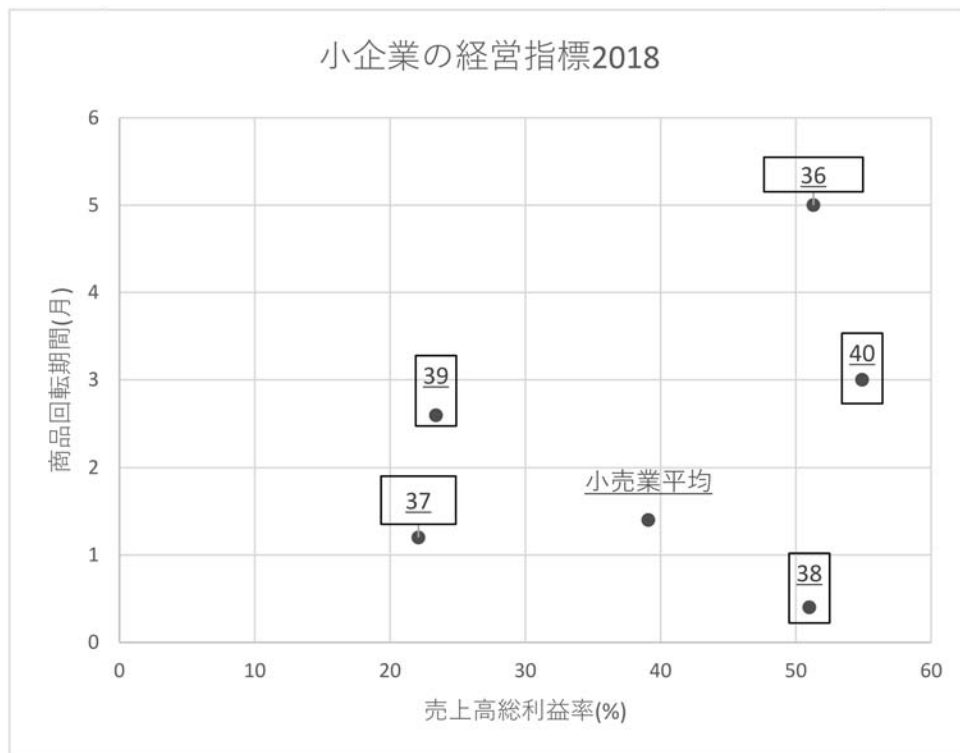


第6問〈配点5点〉

(解答番号は  から )

次の数値は、日本政策金融公庫『小企業の経営指標2018』に掲載されている「業種別の経営数値」である。表の空欄にあてはまる最も適切な業種を下記の語群から選び、解答欄にその番号をマークしなさい。

業種	売上高総利益率 (%)	商品回転期間 (月)
小売業平均	39.1	1.4
<input type="text" value="36"/>	51.3	5.0
<input type="text" value="37"/>	22.1	1.2
<input type="text" value="38"/>	51.0	0.4
<input type="text" value="39"/>	23.4	2.6
<input type="text" value="40"/>	54.9	3.0



(語群)

36 ) 40	1. 惣菜屋	2. 喫茶店
	3. 鮮魚小売業	4. 書籍雑誌小売業
	5. 酒小売業	6. 美容業
	7. 時計・眼鏡・光学機械小売業	8. 呉服小売業
	9. 子供服小売業	10. 男子服小売業

第7問〈配点10点〉

(解答番号は  から  )

次の財務諸表（損益計算書、貸借対照表）を分析して、文章の空欄にあてはまる最も適切な語句や数字を次頁の語群から選び、解答欄にその番号をマークしなさい。

貸借対照表

(単位：百万円)

	2018年度	2019年度		2018年度	2019年度
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産			流動負債		
現金及び預金	250	350	支払手形	250	250
受取手形	200	200	買掛金	150	150
売掛金	350	350	短期借入金	400	600
商品	400	500	流動負債合計	800	1,000
流動資産合計	1,200	1,400	固定負債		
固定資産			長期借入金	200	200
有形固定資産			固定負債合計	200	200
建物	300	300	負債合計	1,000	1,200
土地	100	300			
有形固定資産合計	400	600			
無形固定資産			(純資産の部)		
商標権	100	200	株主資本		
無形固定資産合計	100	200	資本金	500	500
投資その他の資産			資本剰余金	200	350
長期貸付金	300	300	利益剰余金	300	450
投資その他の資産合計	300	300	株主資本合計	1,000	1,300
固定資産合計	800	1,100	純資産合計	1,000	1,300
資産合計	2,000	2,500	負債純資産合計	2,000	2,500

損益計算書

(単位：百万円)

	2018年度	2019年度
売上高	2,500	3,000
売上原価	1,500	1,650
売上総利益	1,000	1,350
販売費及び一般管理費	450	550
営業利益	550	800
営業外収益	5	5
営業外費用	55	55
経営利益	500	750
特別利益	20	20
特別損失	20	20
税引前当期純利益	500	750
法人税、住民税及び事業税	200	300
当期純利益	300	450

財務分析の結果は、以下のとおりである。

流動比率は、2018年度  %であったが、2019年度には  %となり、短期の安全性は  している。

(語群)

41	1. 100	2. 110	3. 120	4. 130
43	5. 140	6. 150	7. 160	8. 170
	9. 向上	10. 低下		

自己資本比率は、2019年度には  %となり、2018年度と比較して、長期の安全性は  している。

(語群)

44	1. 35.7	2. 48	3. 52	4. 65
45	5. 向上	6. 低下		

売上高営業利益率は、2019年度には  %となり、2018年度と比較して、  は向上している。

(語群)

46	1. 45	2. 26.7	3. 25	4. 24
47	5. 本業での収益性	6. 商品力	7. 安全性	

売上高経常利益率は、2018年度  %であったが、2019年度には経営努力の成果で向上している。

(語群)

48	1. 24	2. 22	3. 20	4. 12
----	-------	-------	-------	-------

貸借対照表によれば、2019年度の平均商品在庫高は  百万円となる。

したがって、2019年度の商品回転率は  回である。

(語群)

49	1. 400	2. 450	3. 500	4. 850
50	5. 7.5	6. 6.7	7. 6	8. 3.5

